

■九州朝日放送番組審議会議事概要（4月分）

第582回	九州朝日放送番組審議会 議事概要
開催年月日	平成28年4月11日（月） 午後3時30分～5時00分
開催場所	九州朝日放送 本社役員会議室
出席者	<p>委員総数 8名 出席委員数 8名 欠席委員数 なし</p> <p>（出席委員） 光富 彰委員長、宮田 克彦副委員長、 松村 茂雄委員、鶴 利絵委員、 野田 幸之輔委員、藤田 ひろみ委員、 古宮 洋二委員、三好 京子委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 武内 健二 常務取締役編成制作局長 半田 俊彦 取締役ラジオ局長 清水 透 報道局長 松延 健次 テレビ制作部長 大保 一（番組制作時） プロデューサー 藤村 翼 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳 康治 事務局員 古賀 香織、松田 泰久</p>
議 題	<p>テレビ番組 「中山秀征の究極ハウス」 〈放送日〉平成28年3月13日(日)午後1時55分～3時20分</p> <ol style="list-style-type: none"> 番組種別の公表報告（平成27年10月～平成28年3月） 平成28年4・5月ラジオ・テレビ番組編成状況の報告 平成28年3月視聴者・聴取者応答状況の報告 その他
議事の概要	<p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1時間25分の長さを感じさせない内容で、日曜日の午後に家族で楽しめる番組だった。 ○サブタイトル「こだわりの家にはドラマがある」に沿った内容で、住む人の素敵な人生模様がよく表現されていた。 ○中山秀征、石原まき子夫人、石原良純3人のなごやかで親近感のあるキャスティングが良かった。 ○石原邸以外の家もユニークで面白かった。地方局で全国を対象にした、このような番組の制作ができるのは素晴らしい。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「究極ハウス」といいながら石原邸の紹介がほとんどで、他の家は半端な気がした。石原邸で全篇制作できたのではないか。 ○「中山秀征の」とタイトルがついているのに他のレポーターが出演しているのは何故なのか。 ○番組冒頭のダイジェストは不必要ではなかったか。 ○地方局が制作する全国ネット番組にしてはローカル色が無く、珍しく感じた、企画の経緯を知りたい。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日曜午後帯にみんなが楽しめる番組とは何かを考え、「家を通じて人を描く事」とした。家づくりから見える人のドラマをメインテーマにした。 ○こだわりのデザインや愛用の品で満たされている石原裕次郎邸をメインに「その人の想い」を伝えられる家を選んだ。その他にもいろいろ紹介したかった。 ○興味を持ってもらうために初めにダイジェストを入れたが、もう少し工夫が必要だった。 ○石原良純氏のおかげで、石原まき子さんの日頃テレビでは出ない素の様子や本音を出せたと思う。 ○中山秀征氏は石原邸をメインにあとはナレーションでの出演とした。スケジュールの都合もあったが、番組が続けば今後はもっと出番をひろげて行きたい。 <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p> <p>その他 番組種別の公表報告（平成27年10月～平成28年3月）をしました。</p>